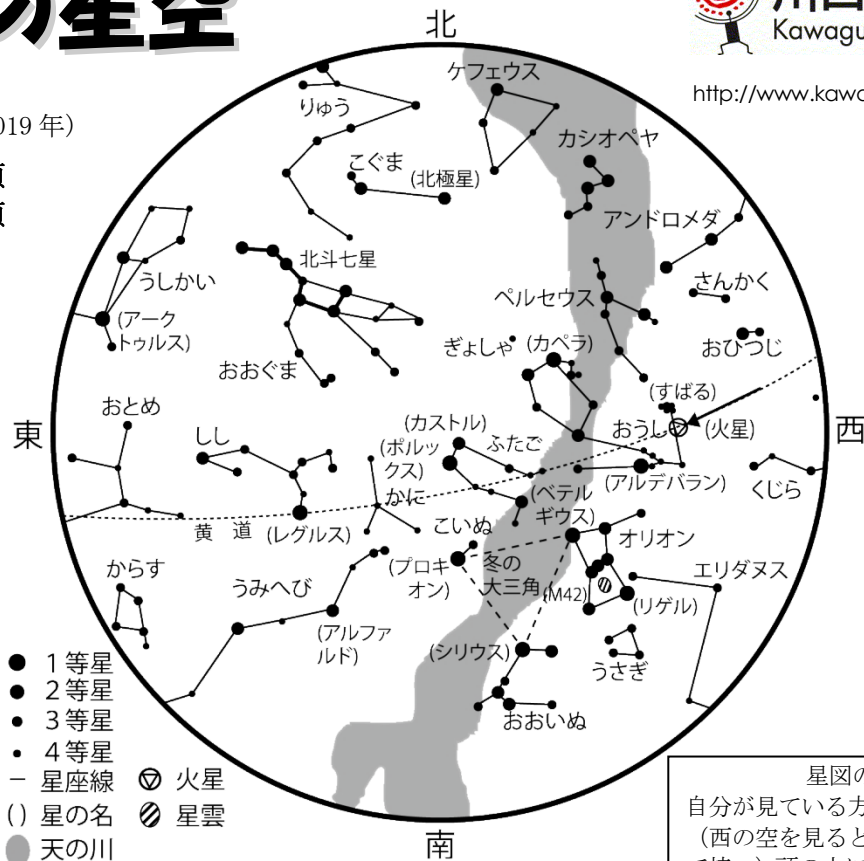


今月の星空

3月 (2019年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 星座線
- () 星の名
- ☉ 火星
- ☁ 星雲
- 天の川

星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 新月 7日、☉ 上弦 14日、○ 満月 21日、● 下弦 28日
惑星情報 火星 夜のはじめ頃 西 (おひつじ座→おうし座 1等級)

☆東から昇る春の星座

冬の星座が西の空に移り、東の空には、しし座やうみへび座などの春の星座が昇ってきています。春の星座には、かに座やしし座、おとめ座といった、なじみのある黄道十二星座がありますが、目立つ星は多くありません。春の星座探しでは、しし座のレグルス (1等星) やうみへび座のアルファルド (2等星)、北斗七星を目印にしましょう。

☆黄道十二星座と春分の日

地球は太陽のまわりを公転しているため、地球にいる私たちから見ると、太陽は背後の恒星に対して位置を変え、天球※上を1年かけて一周するように見えます (右図参照)。天球上での太陽の通り道を“黄道 (こうどう)”といい、この黄道上に作られた、へびつかい座を除く12の星座が“黄道十二星座”です。黄道付近は月や惑星も通るため、古くから天体観測において重視されてきました。

※天球…地球を中心とした地球を取り巻く仮想的な球面。太陽や月、星などの天体は、この天球に貼り付いているものと考えます。

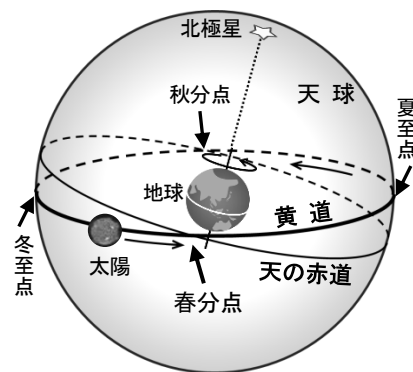


図 黄道と天の赤道の関係

また、地球の赤道を天球上に投影したものを“天の赤道”といいます。図のように、黄道と天の赤道が交わる点を“春分点・秋分点”といい、春分点を太陽が通過する日を春分の日 (今年は3月21日) としています。この日は、太陽が真東から昇り真西に沈みます。そして、この日から秋分の日までは、太陽は真東から北にずれた位置から昇り、真西から北にずれた位置に沈みます。これは、図のように、春分点から秋分点までは、天の赤道よりも黄道が北 (北半球) 側にあるためです。

ワンポイント～地球の公転と星のめぐり～

どうして、月日が経つと星空は移り変わるのでしょうか。例えば、南の空の星の動きを毎晩同じ時刻に観察していると、西に少しずつ位置を変えていきます。これは星が動いたのではなく、地球の公転による見かけの動きです。したがって、星は1年 (365日) で元の位置に戻る (360度回る) ため、1日に約1度、1か月で約30度移動して見えます。これを天体の年周運動といいます。